

## 教育

\*\*\*\*\*

提案・意見

早修・中島小学校の統合について

うわさに聞くと、早修小学校と中島小学校が統合され、中島小学校は早修小学校に吸収されることが進められているようです。

生徒数の減少により統合はやむをえないことかも知れないが、通学の困難さも考慮して検討してほしい。

特に宮川町は旧市内のはずれにあり、今でも中島小学校に通学するのに遠くて大変である。

早修小学校になればさらに大変である。遠くなる所は、バス通学等も考えているのか。

中島小学校の方が生徒数も多く、災害時でも3階に非難すれば、安全は確保される。

こういう大きな問題は一部の者だけの判断で決めるのではなく、アンケート等で広く意見を聞いて決定すべきではないのか。

「知らない間に決定されていた。」ということのないよう十分な検討を願いたい。

## 回答

### 〈統合校の設置について〉

伊勢市では、「伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画」（以下、基本計画）に基づき、市内小中学校の統合を進めています。統合校については、統合の対象となる学校の規模及び創立時からの経過年数にかかわらず、新設校として設置します。

### 〈3校の統合場所について〉

中島小学校、早修小学校、佐八小学校の3校の統合については、当初、中島小学校を統合場所としていましたが、平成28年12月の宮川洪水ハザードマップの改定により、中島小学校に宮川洪水浸水想定がされることとなりました。

これを受け、平成29年3月に「3校の統合場所については、検討を継続する」という形で基本計画を変更するとともに、各学区の地域及び保護者の代表の方々に対し、内容変更について説明会を開催いたしました。

この後、統合校の場所について関係各部署と更なる検討を重ねた結果、児童数の減少により小規模な改修で学校運営が可能となったこと、施設として最も新しいこと、宮川洪水浸水想定がないことなどから、早修小学校が統合場所として最も望ましいという判断に至りました。

平成30年度は、各小学校区PTA・自治会代表者等、地域内幼稚園及び保育所保護者を対象に、3校の統合場所を早修小学校とする方針の説明会を15回実施しています。

### 〈統合に係る遠距離通学者に対する支援〉

基本計画では、遠距離通学者に対する通学支援として、学校の適正配置に伴い学校から半径約2kmを超える区域に居住する児童に対しては、市の負担により公共交通機関やスクールバス等の交通手段を確保するなど、児童生徒の心身への負担の軽減を図るとしています。

詳細な通学手段・通学方法については、統合校の開校に向けて地域の代表、PTAの代表、幼稚園・保育所の保護者代表と学校等で作る統合準備会において検討を進めていきます。

基本計画と進捗状況等の情報については、広報いせや市ホームページ等に掲載しますので、ご覧ください。伊勢市の取組にご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

担当課

学校統合推進室（2019年3月回答）〔3/11～15〕

## 教育

\*\*\*\*\*

提案・意見

読書通帳機の検討

伊勢市にて子供を育てている母親です。

先日、友人の住む海津市に行った際海津市図書館にて「読書通帳機」と呼ばれるシステムを導入しているのを見ました。

自分が借りた本を銀行の通帳のように記帳し、借りた日付、タイトル、ページ数、本の定価を残すことの出来るシステムです。

海津市図書館では導入後、図書館の客足離れが止まったとのことでした。

自分が何を read だか分かるのは凄く良いなと思い、こちらに書き込ませて頂きました。

導入されたらいつも利用する図書館が更に楽しくなると思います。

### 回答

読書通帳につきましては、読書意欲を促進したり、読書の思い出を記録したりすることができる読書応援ツールとして、図書館利用の活性化を期待できるものであると認識しております。

現在のところ、導入の予定はございませんが、今回のご意見を含め、より一層市民の方にご利用いただける図書館運営に向けて、今後も検討してまいります。

現在は、貸出の際にお渡ししているレシートに借りた日付や本のタイトル等を記載しているほか、図書館のインターネットサービスをご利用いただくと図書館ホームページにて借りている本の情報が確認いただけますので、読書履歴の作成にご活用いただければと存じます。

担当課

社会教育課（2019年3月回答） [3/11~15]